

夜のアーティスト（小説・評論・思想その他、書くワーク）

夜。疲弊しきった体を癒すのが、創作であること。夜の喜びが、創ることであること。眠るように、神様にすべてを明け渡し、空っぽになって、創ること。夜こそ、ムコウ側にいくための、絶好の機会であること。全ての祈りが、つながるときであること。

夜のアーティストとして、ムコウ側に行く、創作の歯車を、回すためのワークを中心として、行っていきます。

ジュリア・キャメロンは、自分で表現することなく、他のアーティストを応援したり、他のアーティストの作品を見るだけで、己の創造をかたくなに行わない人たちのことを、影のアーティストと呼んでいます。彼女の著作では、そうした影のアーティストを、影からやわらかな日差しにあたる場所へと、創造への喜びの道へと、ナビゲートしてくれます。夜のアーティストも、同じく創造への喜びをたどります。よりひそやかに、自分の内側の創造へと向かいます。全てを受け渡すために、内側の声を、夜の、じっと疲弊した身体から、聞いてみましょう。己の祈りを、己の心を、己の魂の形そのものを。

現在は、書くワークのみですので、参加の際には、ノート一冊（途中のもので構いません）と、筆記用具をご準備をお願いします。お持ちでない場合、ペン一本の貸出し、ルーズリーフ三枚までお渡しすることが可能です。お気軽に、ご参加ください。

1 ページ目 以下のことを書いてください。（15分）

- ・今日あった良いこと
- ・自分の今日の行動で、すごいと思ったこと、褒めてあげたいこと
- ・明日楽しみにしていること

2 ページ目以降

・創りかけのもの（小説・詩・手紙・論文なんでもかまいません）について、続きを、または、続きとしてやる予定のプロセスがあれば、思いつくままに、書いてください。

・特に何も無い、見当たらないという場合には、好きなもの、自分がワクワクするものを、思いつくままに、書いてください。また、自分が神様で、なんでも思い通りに創造することができるなら、何を作りますか。思いつくままに、書いてください。

初めに在ったア 神さまの思いだった 思いが神さまの胸に在った

その思いこそ神さまそのもの 初めの初めに神さまの 胸の内にあったもの

（ケセン語訳 山浦玄嗣）

この「神さま」の部分で、「私」に置き換えてください。何かがおこった、何かが見えたなら、じっくりと、その何かに取り組んでください。

以上でワークは終わりですが、こんなこと思いついた、今、こんなこと書いている、ということがあれば、気軽に声をおかけください。創造の同志として、語り合しましょう！

その他ご要望があれば、以下のツイッターアカウント、もしくは、メールアドレスまで、ご連絡お願い致します。

人見

ツイッターアカウント：@hitomi_morning

メールアドレス：tutuo0401@gmail.com